令和5度「文化芸術による子供育成推進事業　出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目（該当する分野、種目を選択してください。）

分野	伝統芸能	種目	邦楽

申請区分（申請する区分を選択してください。）

申請区分	A区分のみ

複数申請の状況（該当するものを選択してください。）　※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当するものを選択してください。）

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっぱんしゃだんほうじんながうたきょうかい 一般社団法人長唄協会		団体ウェブサイトURL https://www.nagauta.or.jp/
代表者職・氏名	会長　芳村伊十郎(代表理事　小田隆弘)		
制作団体所在地	〒 160-0023	最寄り駅（バス停）	東京メトロ丸ノ内線「西新宿」駅
	東京都新宿区西新宿6-12-30芸能花伝舎A棟2F		
電話番号	**03-6279-4749**		
ふりがな 公演団体名	いっぱんしゃだんほうじんながうたきょうかい 一般社団法人長唄協会		団体ウェブサイトURL https://www.nagauta.or.jp/
代表者職・氏名	会長　芳村伊十郎(代表理事　小田隆弘)		
公演団体所在地	〒 160-0023	最寄り駅（バス停）	東京メトロ丸ノ内線「西新宿」駅
	東京都新宿区西新宿6-12-30芸能花伝舎A棟2F		
制作団体　設立年月	大正14年(1925年)7月		

制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	下記()内は、履歴事項全部証明書に記載の役員に関する事項の役職と本名を記載)会長芳村伊十郎（代表理事　小田隆弘）副会長 今藤長十郎(理事 坂田早苗）、副会長 杵屋佐吉(理事 武藤吉彦)、副会長 藤舎呂船(理事 橘利明)、常任理事 杵家弥七(理事 赤星 輝幸) 、常任理事 吉住小三郎(以事 吉住彰規)、常任理事日吉小三八(理事 石村和人)、常任理事 和歌山富朗（理事谷口之彦）他理事１０名、監事　芳村伊四郎（監事　太田孝彦）他監事２名		当法人は、理事会21名（代表理事1名を含む）を含む協会員2,200名（2022年9月1日現在）にて構成。会員は、各流派の芸名を持つ事を原則とし、各流会派の推薦する演奏家の本会への入会は、定款第６条の会員の資格の取得に基づく。
事務体制 (専任担当者の有無)	専任の事務担当者を置く	本事業担当者名	高嶋　昭雄
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	吉原　悦子

制作団体沿革	長唄協会 大正14年（1925年）　東京府知事の勧告により設立 昭和52年（1977年）　社団法人認可 平成24年（2012年）　一般社団法人認可
	長唄協会では、社団法人認可以前より、青少年の健全育成の一環として、小学生にも伝統文化に勤しむ時間を設ける為、昭和43年（1968年）12月より 学校巡回公演を主催～後援等で実施。その後中学校、大学も含め、現在、東京都～神奈川県で年間約10校程度実施。 また、従来より、学校教員(音楽の先生)向けの長唄実技研修会を全国規模で展開しており、DVD付きのテキスト等を利用しながら、長唄を通して、三味線、囃子楽器等に直に触れ、日本の伝統楽器の特徴を理解しつつ、先生から生徒への円滑な指導に役立てている。 その他、伝統文化芸能体験事業として、東京都他の要請を受け、学校や指定会場にて、体験事業を実施している。 以下、学校巡回事業実施学校名(平成25年～令和3年) ○平成25年 文京区立本郷小学校　江東区立東川小学校　小田原市 邦楽教室　中央区立日本橋小学校 文京区立昭和小学校　豊島区 邦楽鑑賞教室　国立市 邦楽鑑賞教室　杉並区3校合同邦楽鑑賞会 文京区立誠之小学校　武蔵野市立第六中学校 ○平成26年 武蔵野市立第四中学校　文京区立第一中学校　文京区立第一中学校　東京都立豊島高校 フェリス女学院大学　文京区立本郷小学校　文京区立誠之小学校　文京区立昭和小学校 新宿区立西戸山中学校　稲城市立稲城第四中学校　品川区立伊藤学園　江東区立東川小学校 小田原市ワークショップ　品川区立伊藤学園　品川区立伊藤学園　品川区立伊藤学園 中央区立日本橋小学校　千葉大学教育学部

学校等における 公演実績	○平成27年 武蔵野市立第四中学校　武蔵野市立第六中学校　国立市邦楽鑑賞教室　フェリス女学院大学 小田原市立片浦小学校　小田原市立三の丸小学校　小田原市立曽我小学校 国立音楽大学附属小学校　豊島区立小学校　邦楽鑑賞教室　新宿区立西戸山中学校 新宿区立西戸山中学校　新宿区立西戸山中学校　新宿区立西戸山中学校　品川区立伊藤学園 品川区立伊藤学園　新宿区立西戸山中学校　文京区立第一中学校　文京区立第一中学校 国立市 邦楽鑑賞教室　世田谷区立駒留中学校　文京区立本郷小学校　中央区立日本橋小学校 文京区立昭和小学校　文京区立誠之小学校　江東区立東川小学校　豊島区立小学校 邦楽鑑賞教室　文京区立第一中学校　文京区立第一中学校　小田原邦楽鑑賞教室 小田原邦楽鑑賞教室　武蔵野市立第六中学校 ○平成28年 フェリス女学院大学　川﨑市立日吉中学校研修会　武蔵野市立第四中学校国立市 邦楽鑑賞教室　中央区立日本橋小学校　文京区立本郷小学校　文京区立誠之小学校 文京区立昭和小学校　武蔵野市立第六中学校　文京区立第一中学校 ○平成29年 フェリス女学院大学　武蔵野市立第四中学校　江東区立東川小学校　文京区立礫川小学校 中央区立日本橋小学校　文京区立本郷小学校　文京区立誠之小学校　文京区立昭和小学校 国立小学校邦楽教室　武蔵野市立第六中学校　文京区立第一中学校　文京区立第一中学校 ○平成30年 フェリス女学院大学　文京区立礫川小学校　国立市小学校邦楽教室　中央区立日本橋小学校 文京区立昭和小学校　文京区立誠之小学校　文京区立本郷小学校　武蔵野市立第四中学校 文京区立第一中学校　文京区立第一中学校　武蔵野市立第六中学校 ○平成31年 フェリス女学院大学　文京区立礫川小学校　武蔵野市立第四中学校　中央区立日本橋小学校 文京区立昭和小学校　文京区立誠之小学校　文京区立本郷小学校　国立市小学校邦楽教室 文京区立第一中学校　文京区立第一中学校　武蔵野市立第六中学校 ○令和1年 フェリス女学院大学　文京区立礫川小学校　武蔵野市立第四中学校　中央区立日本橋小学校 文京区立昭和小学校　文京区立誠之小学校　文京区立本郷小学校 国立市小学校邦楽教室後援 文京区立第一中学校 文京区立第一中学校 武蔵野市立第六中学校 ○令和2年 フェリス女学院大学　文京区立昭和小学校　国立市小学校邦楽教室　文京区立礫川小学校 文京区立本郷小学校 中央区立日本橋小学校 ○令和3年 文京区立誠之小学校　中央区立日本橋小学校　文京区立礫川小学校　文京区立本郷小学校 文京区立昭和小学校　国立市邦楽鑑賞教室

特別支援学校等における公演実績	文京区立第一中学校(特別養護学級)ほか		
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/PW7r_ANyFaA	
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
		PW:	

公演・ワークショップの内容　　【公演団体名　一般社団法人長唄協会　】

対象	小学生(低学年)	○
	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○
	中学生	○

企画名	**はじめての長唄「娘道成寺」「勧進帳」**
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	**◎はじめての長唄「娘道成寺」「勧進帳」** **～第一部　みんなで共演！参加型　長唄「娘道成寺」プロと一緒に全員で演奏しよう～** 曲目　長唄「娘道成寺」 作曲：初世杵屋弥三郎 より一部抜粋編曲(長唄協会) **～第二部　じっくり鑑賞　長唄「勧進帳」　プロの熱演を心ゆくまで堪能してください～** 曲目　長唄「勧進帳」作曲：四世杵屋六三郎　作詞：三世並木五瓶 より一部抜粋編曲(長唄協会) プログラム構成、演出、一般社団法人 長唄協会　　公演時間(休憩含め約90分) 公演時間　90　分

著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合　権利者名		許諾確認状況	

演目概要	**◎はじめての長唄「娘道成寺」「勧進帳」** 長唄にはじめて触れる児童／生徒でも、分かりやすく楽しめるプログラムです。観て聴いて参加して、日本の伝統を心に刻む時間をお届けします。 **第一部　みんなで共演！参加型　長唄「娘道成寺」** ワークショップでお稽古した長唄「娘道成寺」を大勢のプロと再共演。長唄をより深く体感します。 **第二部　じっくり鑑賞　長唄「勧進帳」** プロ演奏家総勢13名の華やかで力強い演奏をじっくり鑑賞します。 別添①をご参照ください。

演目選択理由	大半の児童／生徒たちが長唄にはじめて触れることを想定し、楽しく分かりやすい演目を選びました。 長唄「娘道成寺」はワークショップでお稽古、発表した内容を膨らませ、本公演ではプロの多人数編成の演奏を聴くことができます。また、お揃いの肩衣をつけた児童／生徒がプロと並んで演奏に参加する機会を設け、視覚からも児童／生徒からの興味を引き出します。曲中に全員参加の部分を設けることで、より一層の一体感が生まれ、充実した感動体験となることでしょう。 **第一部　長唄「娘道成寺」** 場面ごとの変化に富んだ大曲ですが、その中でも親しみやすく、弾きやすい箇所を抜粋しています。 ワークショップのみではなく、本公演でも形を変えて同曲に触れることで、より深く身体に浸透させることができます。 長唄は「全く知らない難しい曲」ではなく、プロを交え、皆で演奏をし、楽しい身近な音楽であると感じてもらうことがねらいです。 また、第一部では演奏者、第二部では鑑賞者となることで、広い視点で舞台を鑑賞する能力を培います。 **第二部　長唄「勧進帳」** プロの高度な演奏技術を堪能することができる、大変ドラマチックな曲です。「勧進帳」は中学校音楽の教科書にも掲載され、授業に採用している学校も多いため、実際の生演奏にふれる ことは貴重な経験となります。 今回は「いいとこ取り」と称して、20分間のハイライトを演奏します。「次第」 「寄せの合方」など聴きどころは満載ですが、とくに「滝流しの合方」という器楽だけで演奏されるクライマックスは、そのスピード感と一糸乱れぬ演奏に圧倒されることでしょう。

<table>
<tr><td>児童・生徒の共演、参加又は体験の形態</td><td colspan="3">○共演長唄「娘道成寺」
選抜された児童／生徒は、肩衣をつけプロと並んで演奏します。
(ワークショップ時にお稽古したパートから数名ずつ選抜)

その他の児童／生徒は↓の①と②で鑑賞場所より全員参加します。（おさらいの時間あり）

①みんなで手拍子　～お囃子のリズム～
長唄「娘道成寺」より、お囃子のリズムに手拍子で参加、プロの演奏に合わせてリズミカルに叩きます。

②みんなで唄おう　～謡ガカリ～
長唄「娘道成寺」より、冒頭部分　〽花の外には松ばかり～を大合唱、曲のはじまりを全員で壮大に彩ります。

○楽器の紹介コーナー
司会者が児童／生徒にクイズ形式で質問を投げかけ、その場で挙手により回答してもらうなど、コミュニケーションをはかり、参加意欲を増進させます。</td></tr>
<tr><td>出演者</td><td colspan="3">出演者
長唄協会所属　普及育成委員会を中心に国内外の演奏会で活躍し、歌舞伎の舞台や国立劇場の舞台にも頻繁に立つ一流の演奏家を選抜
総勢13名（長唄4名、三味線4名、囃子5名編成） ほか、後見、楽器説明など
補助出演者3名以内

普及育成委員会メンバー
東音岩田喜美子(委員長)　杵屋五三丸(副委員長)　望月太左衛　望月庸子　　望月太津之
梅屋巴　鳳聲千晴　　今藤政音　東音植松美名　芳村伊十冶郎　杵屋栄日陽　東音守屋沙弥香
杵屋五三吉都</td></tr>
<tr><td>本公演
従事予定者数
(1公演あたり)
※ドライバー等訪問する業者人数含む</td><td>出演者:　16　名
スタッフ:　5　名
合　計:　21　名</td><td>運搬</td><td>積載量:　2　t
車　長:　6.3　m
台　数:　2　台</td></tr>
</table>

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	8:30	8:30～12:00	13:00～14:30	10分	14:30～17:00	17:00
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。					

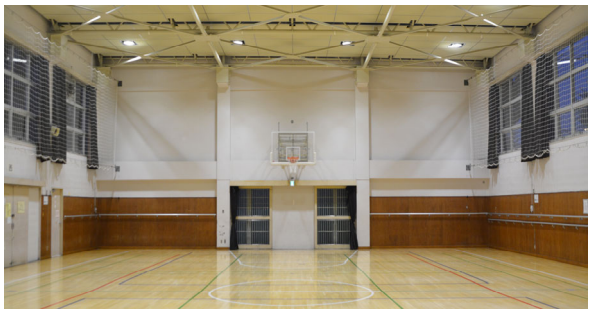
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	22日	20日	22日	20日	21日	
	11月	12月	1月	計	167日	
	20日	21日	21日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	500名程度(体育館に収容できる人数)
		鑑賞人数目安	500名程度(体育館に収容できる人数)

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出やがわかる写真)

※採択決定後、採択団体へ図面等詳細の提出をお願いします。

（図1）体育館にてより多くの児童／生徒を受け入れられるよう、セッティングをします。



（図2）舞台イメージ1

体育館舞台上に山台を組み、緋毛氈を敷き、実際の舞台と同じ仕込みをします。

本公演第一部の共演では、児童/生徒数名がプロとともに山台や壇上に並びます。

第二部のプロ演奏鑑賞時は、唄4名、三味線4名、お囃子5名が並びます。

（図3）舞台イメージ2

山台を壇上に組み、下段にお囃子、上段に唄と三味線が並びます。

本公演の際は金屏風を背面に設置します。

【公演団体名　一般社団法人長唄協会　】

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	５００名程度(体育館に収容できる人数)
ワークショップ実施形態及び内容	**みんなで和（輪！）楽器体験～輪になって長唄「娘道成寺」～** 曲目　長唄「娘道成寺」 作曲初世杵屋弥三郎 より一部抜粋編曲(長唄協会) ※お稽古と発表会で90分程度を必要としますが、45分でも対応します。その際には（人数により変動もありますが）発表会を割愛し、お稽古のみとなります。 別添②をご参照ください。		
	◎全員体験が可能 我々が提案するワークショップは学校の児童／生徒全員が参加することが可能です。 三味線、小鼓は実際の楽器を使用しますが、両楽器とも、とくに演奏技術が必要なため、講師が対応できる最大数を用意しました。篠笛は、旋律を児童／生徒が所持しているリコーダーで演奏することで多人数の参加を可能としました。小学校低学年では楽器の扱いが難しいため、唄パートを用意しています。体育館を利用し、全員で長唄の発声を学びます。日本語の独特のルールである鼻濁音などについても触れます。 **◎実際に楽器に触れてみる** 和楽器は、他の楽器に比べて目にする機会が少なく、持つことさえも困難な楽器です。そのような楽器ですが、専門家の指導のもと、正しい構え方・音の出し方を短時間で習得することができます。生徒／児童の興味をより引き出せるよう講師一同力を尽くします。		

ワークショップのねらい	**◎稽古の成果を合奏で発表** 長唄は通常指揮者を置かず、横一列に並び、掛け声やお互いの息を汲みながら演奏します。 今回は体育館の中心を向き、輪になることで演奏しているお互いの様子を目で見ながら演奏することができ、その場にいながら鑑賞、応援することができます。 **◎長唄とは？** 長唄の歴史や背景などをイラストやスライドを使用しながら、端的に説明します。 演奏家が普段どのような心構えで演奏しているか、プロならではのエピソードなどもお話に交えることで、生徒／児童の演奏家に対する興味 も引き出します。 **◎感想 質疑応答 宿題提示** ワークショップで生まれた発見や疑問が本公演を楽しむための素地 となります。 約一ヵ月後の本公演で長唄「娘道成寺」の演奏に全員参加しますので、 簡単な宿題を提示し、お稽古の内容を記憶に留める工夫をします。
その他ワークショップに関する特記事項等	別添③をご参照ください。

A区分・B区分・C区分共通

別添

リンク先	No.2	【公演団体名	一般社団法人長唄協会	】

項目内容
「本公演演目」

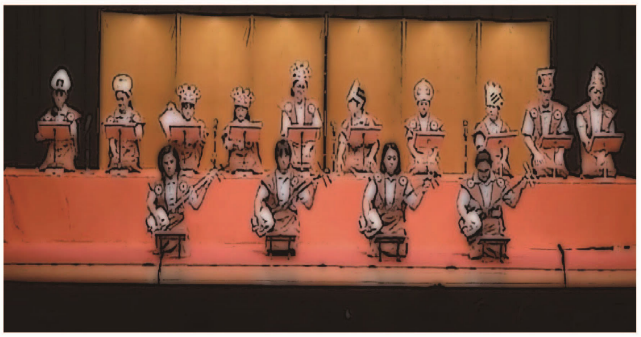
別添①

一般社団法人 長唄協会

本公演

所要時間：90分 / 使用場所：体育館

はじめての長唄
『娘道成寺』『勧進帳』



長唄にはじめて触れる児童 / 生徒でも、
分かりやすく、楽しめるプログラムです。
観て聴いて参加して、日本の伝統を心に刻む時間をお届けします。

プロ演奏家総勢 13 名の華やかで力強い演奏をじっくり鑑賞していただきます

項目内容 「本公演演目」	

プログラム

第1部 みんなで共演！参加型 長唄『娘道成寺』
～プロと一緒に全員で演奏しよう～

～開演前 「着到（ちゃくとう）」で皆さんをお迎えします

着到とは？

笛、締太鼓2管、大太鼓の構成で打つ儀礼的なお囃子の一つで、元来は座頭（ざがしら）（一座の長である人）が到着したことを知らせる合図でした。現在では、歌舞伎公演の開演30分前に打ちます。歌舞伎以外の日本舞踊会でも歌舞伎と同じように「着到」を打つことが多くあります。本公演では、特別に児童／生徒の到着に合わせて、「着到」でお出迎えします。

開　演

一、はじまりのお話 2分

二、ごあいさつ おさらい 5分

ワークショップの時にもお稽古した、お辞儀、姿勢、所作などの指導を、共演に必要な形でおさらいします。

三、長唄『娘道成寺』説明 5分

長唄『京鹿子娘道成寺』

作曲：初世杵屋弥三郎

長唄の最も有名な曲の一つで、白拍子（しらびょうし）の花子が道成寺の鐘供養に訪れ、舞を次々に披露するうちに鐘に飛び込み、蛇体となって現れるという筋です。

項目内容 「本公演演目」	場面ごとの変化に富んだ大曲ですが、その中でも親しみやすく、弾きやすい箇所を抜粋しました。初めて長唄に触れる児童／生徒でも楽しんでもらえることをねらい選曲しました。 **○『娘道成寺』おさらい** 10分 全員で、唄や 手拍子のおさらいをします。 **○『娘道成寺』本番（プロと児童／生徒の共演）** 13分 ご挨拶を済ませるといよいよ幕が開きます。 幕が開いた壇上には肩衣姿のプロと選抜児童／生徒※が並んでいます! その他の児童／生徒たちは鑑賞場所から全員で、唄と手拍子で参加します! ※選抜児童／生徒について ワークショップでお稽古した、唄・三味線・小鼓・リコーダーから、数名ずつ選抜して下さい。選抜する人数は学校の規模、ステージの広さなどからこちらで指定します。選抜の児童／生徒は本公演当日、開演時間前に、パート練習、指導の時間を設けます（所要時間 2〜30 分程度）。本公演内の発表時にはステージ に上がり、プロとお揃いの「肩衣」姿で演奏に参加できます ! 肩衣着用の生徒は、ベルトか腰紐をご用意下さい。

項目内容
「本公演演目」

演奏終了後、幕が閉じます。

「ありがとうございました！」

演奏後のご挨拶をします。

ステージ上の選抜の児童／生徒に出来栄え、感想をうかがいます♪

休　憩

楽器ふれあいコーナー 10分

休憩時間中、自由に楽器に触れられるコーナーを設けます。

三味線、小鼓、締太鼓、楽太鼓など

第2部　じっくり鑑賞「勧進帳」

プロの熱演を心ゆくまで堪能してください

一、幕開き（まくあき） 1分

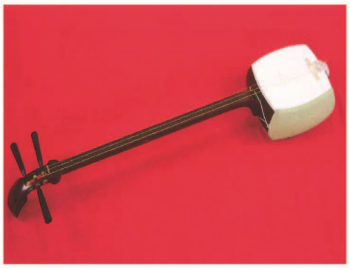
後半の鑑賞の幕開きです。
今回は『片砂切（かたしゃぎり）』という能管と締太鼓によって演奏される音楽で
幕を開けます。

幕開きとは？

公演や演奏のはじまりに幕が開くことをいいます。
音がつくこともあれば、ないこともあります。

二、さまざまな音に親しむ「楽器紹介」 20分

○和楽器を知ろう



三味線、唄、お囃子、それぞれの楽器や特徴を、説明と音を
交えながらお話しします。
スライドを使用し、後方の児童 / 生徒にも楽器の細かな構造を
みていただきます。

項目内容
「本公演演目」

三、鑑賞　長唄『勧進帳』（説明と鑑賞含め）20分

作曲：四世杵屋六三郎　作詞：三世並木五瓶

歌舞伎でもとくに人気の演目ですが、その音楽だけを取り出しても、ドラマチックで変化に富み、プロの高度な演奏技術を堪能することができます。曲の後半には「瀧流しの合方」という器楽だけで演奏される部分があり、そのスピード感と一糸乱れぬ演奏は圧巻の一言です。『勧進帳』は中学校音楽の教科書にも掲載され、授業に採用している学校も多いため、実際の生演奏にふれることは貴重な経験となります。

四、アフタートーク 4分

ワークショップから本公演の体験・鑑賞を終えた皆さんの質問にお答えします。
ぜひ、感想をお聞かせください。

終演後～ **児童 / 生徒の退場時は「打ち出し」という音楽を演奏し、本公演の締めくくりとします。**

打ち出しとは?

一日の公演が終わったときに大太鼓によって打つ音楽です。「デテケデテケ（出てけ）」と聞こえるように打ちます！はじめは急調に段々と緩やかになり最後に縁をカラカラカラと打ちます。

リンク先	No.3	【公演団体名	一般社団法人長唄協会	】

項目内容
「WS実施形態及び内容」

別添②

一般社団法人 長唄協会

ワークショップ

所要時間 約 90 分（2 時限＋間休憩）※学校の授業区分に合わせて構成されています。

みんなで和輪！楽器体験

輪！になって発表しよう

長唄『娘道成寺』

長唄とは？

長唄は日本の伝統音楽の一分野であり、三味線音楽の代表的なものの一つでもあります。もともとは江戸時代よりつづく日本の代表的な演劇―歌舞伎の劇場音楽として発達したものですが、歌舞伎舞踊から独立した日本舞踊の伴奏や、長唄単体でも鑑賞されるようになり今日に至っております。

項目内容 「WS実施形態及び内容」	

◎ワークショップ概要

使用場所

第１部 お 稽 古 → 各パートごとのお部屋（体育館を含む）
第２部 発 表 会 → 体育館

持ち物

・共通のテキスト※ワークショップ前までにお送りします。
・座布団（もしくは防災頭巾、バスタオルなど）
※体育館での発表会にて正座をする際に使用します。
正座ができない児童／生徒は椅子を使用します。

曲　目

長唄『娘道成寺』

お稽古内容

４つのパート（楽器）に分かれてお稽古します。

パート

ソプラノリコーダーで代用します

A唄　B三味線　C小鼓　D篠笛

※上記Ａ～Ｄの４種類のパートで、４部屋に分かれて
長唄『娘道成寺』のお稽古をします。

※各パートの参加人数は学校の規模を見てこちらで指定します。
それをふまえて、事前にパート分けをしてください。

項目内容 「WS実施形態及び内容」	

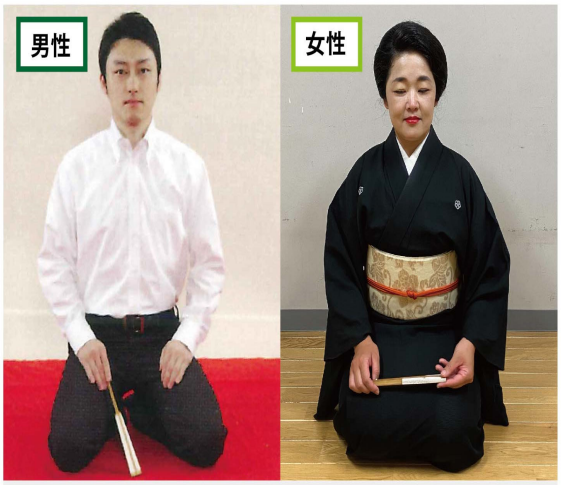
第1部 お稽古 45分

お稽古する各パートの紹介

A 唄 **人数制限なし**（体育館）

お稽古内容：長唄『娘道成寺』より→ **①謡ガカリ ③梅とさんさん**

能楽のような唄い方の「謡ガカリ」と、長唄らしい旋律の「梅とさんさん」をお稽古します。



男性と女性で白扇の持ち方が違います。

参考譜面

長唄　娘道成寺

①謡ガカリ

花の外には松ばかり
花の外には松ばかり
暮れそめて鐘や　響くらん

③

梅とさんさん桜は
何れ兄やら　弟やら

白扇とは？

唄うときに持ち、唄わないときは置きます。
観ているお客様に、誰が唄っているか示す役割もあります。
ワークショップでは白扇を置いたり取ったりする所作もお稽古します。

※白扇をご用意します。

※唄のお稽古は、低学年からでも習得しやすくなっています。

項目内容
「WS実施形態及び内容」

B 三味線

最大人数 20 名まで（各教室）
お稽古内容：長唄『娘道成寺』より→ ②マリ ④サラシ

長唄では細棹（ほそざお）三味線を使用します。
三味線には他に中棹（ちゅうざお）、太棹（ふとざお）があります。

使用道具
バチ、指かけ、膝ゴム

構え方

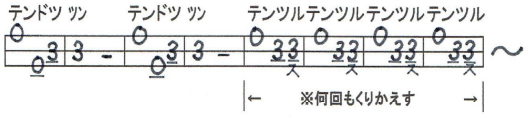
右手でバチを持ち、左手は棹を支えます。
右利きでも左利きでも同じように構えます。

弾き方

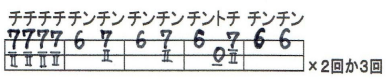
バチを使って三本の糸を弾きます。

参考譜面

②マリ



④サラシ



※楽器を構えることが難しいため、小学３年生以上を推奨します。

項目内容
「WS実施形態及び内容」

C小鼓

最大人数20名まで（各教室）

お稽古内容：長唄『娘道成寺』より→ ②マリ ④サラシ

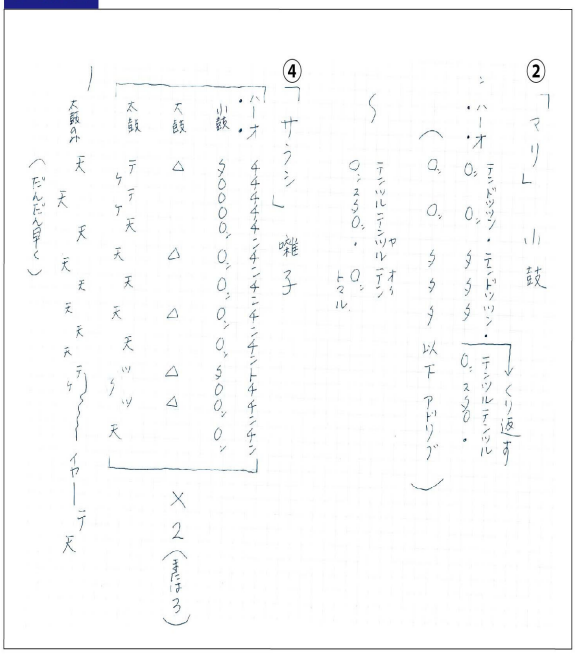
持ち方・構え方

左手で鼓の皮を締めている調べ緒を持ち、右肩に乗せて構えます。

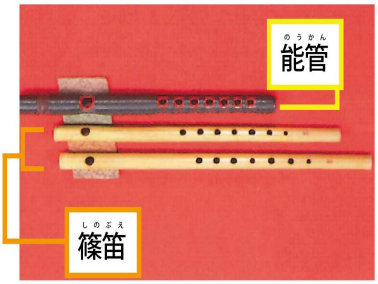
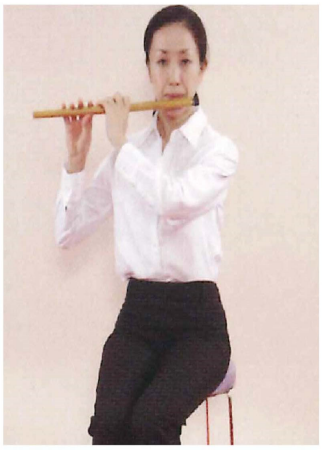
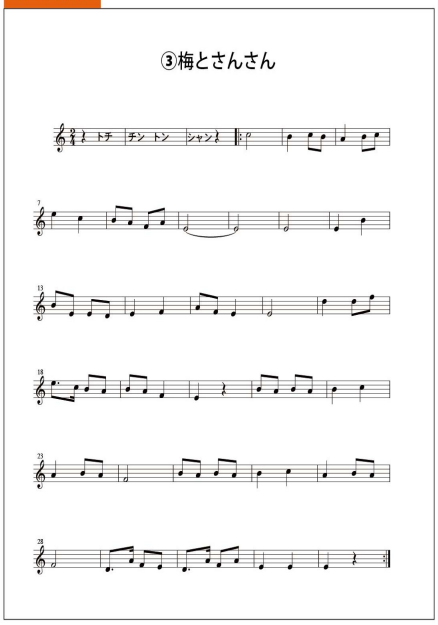
打ち方

手のひらを皮のふちに当てるようにして、おもにひとさし指、中指で皮の中心を打ちます。

参考譜面



※楽器を構えることが難しいため、小学３年生以上を推奨します。

項目内容 「WS実施形態及び内容」	**D 篠笛** **最大人数20名まで** (使用部屋一部屋に入れる人数) お稽古内容：長唄『娘道成寺』より→ ③梅とさんさん 長唄の演奏に使われている笛は篠笛(しのぶえ)と能管(のうかん)の２種類です。   ワークショップでは、篠笛の旋律をお稽古します。楽器は篠笛の代わりにソプラノリコーダーを使用します。 **参考譜面**  ※篠笛は譜面を参照の上対応学年をご判断下さい。 **お稽古終了** 休憩時間 体育館に集合しましょう！

リンク先	No.3	【公演団体名	一般社団法人長唄協会	】

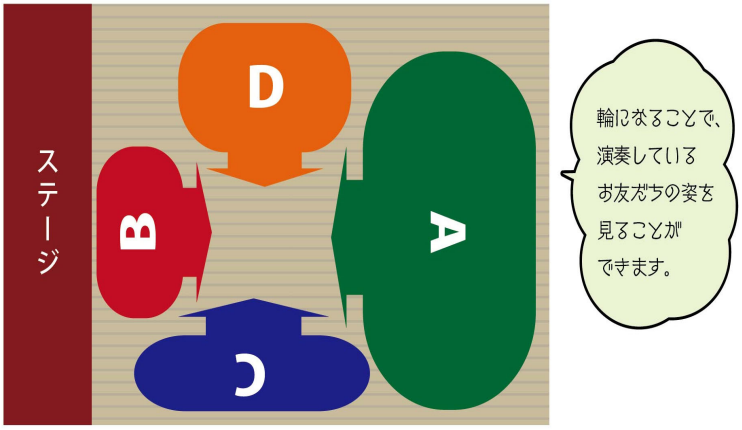
項目内容
「その他ワークショップに関する特記事項等」

別添③

第２部　発表会

一、輪！になって発表しよう 長唄『娘道成寺』

各パート配置イメージ



体育館の中心を向き 輪になるような形で発表会をします！

○プロ模範演奏 5分

皆さんが発表する長唄『娘道成寺』をプロによる演奏で聴き、曲全体の流れをイメージしてください。

○ ごあいさつ 5分

共演する際に必要な、お辞儀、姿勢、所作などのお稽古をします。

伝統芸能の世界ではごあいさつは特に大事です。礼を重んじる気持ちを表します。
お稽古をする前後、発表会をする前後など、「お願いいたします」「ありがとうございました」と必ずごあいさつをします。

○合奏練習 15分

○発表会！ 10分

みんなで息を合わせてよい演奏にしましょう。
発表会の前後には「お願いいたします」と「ありがとうございました」を心をこめて言いましょう。
楽器体験、発表会は緊張もありますが、終わった後の達成感と安堵感は得難いものです。

項目内容 「その他ワークショップに関する特記事項等」	

二、本公演に向けて

○「長唄」って何だろう？ 5分

「長唄」は三味線音楽のジャンルの一つで、17 世紀前半に上方から江戸に伝わりました。最初は「歌舞伎」の伴奏音楽でしたが、江戸時代の後半には 鑑賞用長唄として、歌舞伎を離れて純粋に演奏のみで楽しめる曲がたくさん作られました。その後明治時代には演奏のみの長唄は大人気となり、今現在もその人気は続き、広く楽しまれています！

本公演ではこのような演奏が見られます

本公演ではワークショップでお稽古・発表した長唄『娘道成寺』の演奏にもう一度全員で参加します。そのほかにも細かい楽器の紹介や、長唄の名曲をじっくり鑑賞することができます。長唄についてより深く知ることができ、和楽器の音色や長唄という音楽に親しんでもらえることを目指します。

○ 感想 質疑応答 宿題提示 5分

長唄や、和楽器に初めて触れた感想、質問などをお聞かせください。
本公演でも全員で長唄『娘道成寺』の演奏に参加します。
本公演まで忘れない工夫として、簡単な宿題を提示し、終了とします。

最後にごあいさつ

「ありがとうございました！」

写真、イラスト、楽譜 ©一般社団法人長唄協会